

平成24年山武市教育委員会第5回定例会会議録

1. 期 日 平成24年5月17日(木)
2. 場 所 山武市役所第7会議室
3. 開 会 午後1時30分
4. 出席委員 委員長 北田 正之
委員長職務代理者 五木田 孝義
委 員 高橋 尚子
委 員 京相 光徳
委 員 小野崎 一男
教育長 金田 重興
5. 欠席委員 なし
6. 議場に出席した職員の職及び氏名
教育部長 加瀬 芳美
教育総務課長 渡邊 聡
学校教育課長 宮川 欣也
学校教育課指導室長 鵜澤 政仁
生涯学習課長 篠崎 君子
スポーツ振興課長 川島 勝喜
学校給食センター所長 宮負 勲
文化会館長 江澤 正
公民館長 市原 修
さんぶの森公園管理事務所長 齊藤 榮一

事務局
教育総務課総務企画係長 秋葉 一徳
教育総務課総務企画係 山口 雅之

開会 委員長が挨拶し午後1時30分開会を宣する。

日程第1 ○会議録署名人の指名

北田委員長が議長となり、五木田委員を指名する。

日程第2 ○会議録の承認

第4回定例会教育委員会の会議録を全員異議なく承認。

日程第3 ○教育長報告

報告書に基づき、4月20日から5月17日までの主な業務内容について報告。(主な点は次のとおり)

4月 23日 左千夫友の会理事の木島武雄氏が来庁され委員会として、資料館の応援をしてほしいと要望があった。資料館が手狭で、貴重な資料があるが身障者が2階に上がることが困難であるので増改築を含めた要望があった。

24日 東金市教育部長来庁。昨年、東金市が始めた第1回九十九里オープン兼第37回浮舟杯について、元々は相馬市の卓球大会だが、東金を会場に開催されている。今後の方向として東金で2,3年開催し、山武郡市6市町の後援で大会を開催し、出来るだけ早く福島に戻すようにしたいと話があった。学校、園、保育所訪問を行った。南郷、蓮沼、大平保育所を訪れた。山武市教委では「苗半作の教育」を掲げて幼少期教育の充実をうたっているが、保育所に出向き職員に苗半作のことを伺ってもほとんど知らなかった。市民に発信していく前に足元を固めなければいけないと感じた。

26日 蓮沼中訪問。どこの小学校かと思った。見上げると鯉のぼりが50本泳いでいた。唐笠新校長の提案で始まった。大人でもほのぼのとした気持ちになったので、子供たちへの精神的な効果は大きいと感じた。社会教育委員会議の委嘱状の交付が行われた。バレー部総会で椎名会長とお会いし、女性の方が力量があり大所帯を良くまとめていると感じた。

28日 春季中学校剣道大会。どこの中学校も部員が減っている。5人のチームを3人でやりくりしている学校もあった。児童生徒が減少する中、各学校で部活動をどういった種目に絞るか苦労するだろうと感じた。PTA総会。挨拶のかわりに統廃合を検討しなければならないとPTA役員の方へ説明した。

6日 体育協会総会。旧松尾の高知尾氏が会長に就任。新会長から事務局長を置かない。委員会の職員が熱心にやってくれるので必要ないという発言があった。ちょっと違和感を感じた。

7日 学警連。生活安全課長から千葉県及び山武市管内の状況ということで話があり、少年犯罪は減少し落ち着いているとのことであった。一方で昨日のような事件があるので気が許せないと思った。

8日 婦人会の総会、高齢化、会員の減少が顕著であった。会には打開策はないと痛感した。事務局としての支援を考えなくてはいけない。同日、園長会議があり、こども園の実施する統一カリキュラムの作成会議で積極的に検討しているので大変ありがたいと感じた。

10,11日 関東甲信越静教育長会議、山梨県甲府で行われた。

5月 12日 ボランティア総会。出席者が減り、高齢化も進んでいる。ボランティアは増えているはずなのに、組織が盛り上がっていない。組織のあり方を考えな

くてはいけないと感じた。歴史民俗資料館友の会総会に出席、出席の方々の意見主張が述べられているところであった。出席者の方から、かつては会員が400名いたが今は少ない。教育委員会として教育長も来ていない。全くやる気がない。より行政主導でやってほしい。左千夫をもっとアピールしてほしい。行政が動かないといけない。資料館は左千夫だけでなく、旧町村にも重要な資料があるので大事にして欲しい。様々な意見が述べられていた。

(友の会副会長)も見えていた。あらためてお願いにきたいと話があった。私の感じたことは、世の中、人、金の問題もあり住民主導へと向かっているが、全てがそのようには進んでいない。山武市としてそれぞれの組織、それぞれの問題に行政としてどのように関わっていったらいいのか難しいと感じた。

13日 子ども会総会で山武市教委のPRも兼ねて山武市教委の「苗半作」を話した。「苗半作」について、知っているか伺ったがどなたも御存知ではなかった。幼少期教育に携わる方々が知らないという事は考えなくてはいけないと感じた。会議後に数人が関心を示し共感をしてくれる方がいた。教育委員辞令交付で五木田委員が市長から辞令を渡され4年間の再任が決まった。

14日 地教連総会の教育功労の授賞式、総会が開催された。

16日 中学校陸上競技大会が終了。東上総教育事務所所長訪問が始まった。二川新所長からは、学力向上は教員にとって使命である。職員一人ひとりが自覚をもって臨んでほしい。具体的な施策を持ってお願いしたいという言葉があった。山武中には、大幅な改善が見られた。この現実には、具体的な施策があったからであると感じている。近く校長の目標申告等があるが、もう少し具体的であってほしいと感じている。校長以下の目標申告もそういった面があると思う。厳しすぎるかもしれないが、さらなる目標申告の充実をお願いしていきたいと考えている。

委員長 総会の参加人数によって、その会の関心度がわかると思うが人数的には何名ぐらいの参加があったのか伺いたい。

教育長 体育協会はほとんどの専門部が参加していた。少なかったのは婦人会とボランティア協議会。会総会はたくさん出席していたが、総会の内容は見直さなければならないと思う点があった。口出しをしてはいけないと思うが、しなければいけないと感じた。あまり手助けをしても頼られてしまい、自律出来ないなのでその塩梅が難しいと感じた。

委員長 子ども会について、参加者は少ないのか。

教育長 最近、熱心になってきており、多くなってきた。

委員長 議案第1号「市議会定例会提出議案（山武市奨学資金貸付条例の一部改正）に同意することについて」、議案第2号「市議会定例会提出議案（平成24年度山武市一般会計補正予算（第2号））に同意することについて」は、議会の提出前であり、議案第3号「学校評議委員の委嘱について」から報告第1号「平成24年度山武市奨学資金について」までは、公開に適さない事項であることから、教育委員会会議規則第12条の規定により、秘密会としたい旨提案。
（「異議なし」の声）

日程第4 ○議決事項

議案第1号 市議会定例会提出議案（山武市奨学資金貸付条例の一部改正）に同意することについて

教育総務課長 平成24年7月9日から山武市奨学資金貸付条例の中に外国人住民登録に基づく住民登録という条文について、「住民基本台帳法の一部を改正する法律」及び「出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約」に基づき外国人登録法が廃止となる。これに伴い所要の改正をするもの。

※原案のとおり同意

議案第2号 市議会定例会提出議案（平成24年度山武市一般会計補正予算（第2号））に同意することについて

教育総務課長 小学校維持管理事業で補正額456,000円。清掃委託料、松尾小学校体育館の床のワックスを削り塗り直す。こども達の安全性に配慮した措置。

さんぶの森公園管理事務所長 4月1日、旧保健センターが廃止され中央会館に統合という形になった。これに伴い和室2部屋が有料で貸し出すことになったため、年間3万円を見込んでの歳入の補正。施設管理事業は、福祉部で持っていた予算をさんぶの森に統合した。

※原案のとおり同意

議案第3号 学校評議委員の委嘱について

学校教育課長 小学校46名、中学校24名で計70名。新規15名。各校長の推薦に基づき教育委員会が委嘱した学校評議員を全小中学校に置き校長の行う学校運営に関し、助言協力を求めるもの。各学校3名から5名を置き、任期は1年間。各校の評議委員について説明。

委員長 評議員の年齢はどのような構成になっているか。

学校教育課長 成東小学校の 氏が81歳で最高齢。小学校PTA会長で35歳の方が一番

若い。

※原案のとおり可決

議案第4号 山武市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

スポーツ振興課長 役員の改選、人事異動に伴う委嘱である。山武市体育協会長に高知尾氏、山武市校長会会長に鈴木校長。人事異動で教育総務課長を委嘱する。任期は残任期間の平成24年12月20日までとする。

※原案のとおり可決

議案第5号 山武市文化会館運営協議会委員の委嘱について

文化会館長 任期満了に伴い、委員定数10名の委嘱をお願いする。任期は平成24年4月1日から平成26年3月31日まで。新たな委員は校長会推薦の鈴木哲校長。

※原案のとおり可決

議案第6号 山武市図書館協議会委員の委嘱について

図書館長 任期満了に伴う委嘱。委員定数10名の委嘱となる。新しい委員は、元南郷小学校長。元役場職員。任期は平成24年4月1日から平成26年3月31日まで。

※原案のとおり可決

議案第7号 山武市学校給食センター運営委員会委員の委嘱

学校給食センター所長 任期満了に伴う委員定数14名の委嘱。任期は平成24年4月1日から平成26年3月31日まで。

※原案のとおり可決

日程第5 ○協議事項

協議第1号 準要保護の認定について

学校教育課長 10家庭 18名の審議をお願いする。うち6家庭が母子家庭。父子家庭が1家庭。新規申請分と継続申請分について説明。

※原案のとおり10件18名について認定

協議第2号 平成24年度教科用図書山武採択地区協議会規約及び委員の承認について

指導室長 山武地区の教科書採択において、協議会を構成している市町が同一の教科書を採用するための協議会である。構成は山武地区の6市町の教育委員会。委員は15名。内訳は、関係市町教育委員会は、当該市町教育委員会の代表者1名以上並びに校長、教頭の代表者、保護者の代表者、その他適切な者の

うちから委員を選出する。平成24年度の教科用図書山武地区採択協議会は、山武市教育委員会が採択事務の事務局となる。

五木田委員 教科書採択において、単独の教育委員会でも採択は可能か。
指導室長 県内では千葉市は政令指定都市のため別格であるが、大都市部においては、単独、隣接2市で採択しているところもある。

五木田委員 法的には、1教育委員会で採択することも可能なのか。
指導室長 可能である。

五木田委員 沖縄の採択問題もあったが、教育委員連絡協議会に参加した際に、単独の採択を求める委員もいた。2市4町が山武採択地区協議会を発足しているのであるから、広く様々な意見を取り入れながら、良い教科書を採択できるようにしていただきたい。

教育長 山武市が事務局であるので協議会を立ち上げる際に、冒頭で定例教育委員会の中で意見を紹介し協議会を立ち上げた方がいいと思う。沖縄の問題もあり、採択については各市町村単位という方向性が打ち出されている面がある。構成地区の情報を収集しておくことが必要であると思う。

指導室長 各教育委員会で出た意見をあらかじめ収集して協議会に臨むよう準備する。一点、新しい教科書について去年は小学校、今年は中学校で使用が開始されている。通常学級における教科書は4年に1度の採択なので、今年度採択業務はない。附則第9条による特別支援学級で使用する教科書については、毎年度採択が行われる。

日程第6 ○報告事項

報告第1号 平成24年度山武市奨学資金について

教育総務課長 第3回定例教育委員会決定後の申請者の経過について説明。
山武市奨学資金貸付規則第3条「連帯保証人」の表現があいまいであるという指摘について、より明確なものとするために来年度の貸付までの間によりわかりやすい表現とする規則改正を考えている。

休憩 14時57分

再開 15時10分

報告第2号 山武市陸上競技大会の結果について

学校教育課長 昨日、成東総合運動公園で陸上競技大会が開催された。山武市では学級対抗で競技を実施している。1位が8点、2位が7点。8位に入賞で1点を得られる。5年生では、松尾小学校1組が1位、山武西小学校が2位。成東小学校1組が3位。6年生は、1位が大富小学校、2位が

成東小学校 1 組、3 位が大平小学校。リレーやハードルは、指導者の力のみせどころであると感じた。

報告第3号 行事の共催・後援について

教育総務課長 3月1日から29日までに承認した共催1件、後援3件について報告。

報告第4号 6月の行事予定について

各所属長より、所管の行事予定について報告。

その他

- 学校教育課長より、運動会・体育祭実施期日、金環日食について説明。
- 指導室長より、市内で発生した事件後の対応、教育委員会ジャーナルについて説明。
- 生涯学習課長より、社会教育委員会議について説明。
- スポーツ振興課長より、復興に向けた支援(スポーツ合宿の受け入れ)について説明。

7. 閉会 午後3時44分